

かとうぜきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成18年9月1日号 (No.14)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

本格的な工事再開まであと1ヶ月となりました。工事の再開の際は、何かとご迷惑をかけることもあろうかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

7月下旬の出水について

7月下旬の梅雨前線の停滞により信濃川上流の長野県では記録的な大雨が観測されましたが、新潟県内においても7月19日夜から20日未明にかけて、信濃川の水量が増加し、小千谷観測所では観測史上5番目に相当する流量を観測しました。これは平成16年10月の台風23号による洪水を上回る規模でした。

大河津分水路では、可動堰のゲートを全開にして洪水を日本海へ流しました。また、洗堰では下流地区の生活用水など必要な水を定量放流しました。

大河津分水路では、五千石遺跡の発掘調査が行われていましたが、長野県内の降雨状況から洪水を予想し、資機材を現場から撤去、洪水を待ち受けていました。洪水後、多くの土砂が流入するなどしましたが、8月初旬には復旧作業を終え、発掘調査を再開しています。



野積橋上流、第二床固を勢いよく流れる洪水
(7月20日 10頃撮影)



現地に立てた高さ3mほどの目印も頂部が見えるだけに
(7月20日 10頃撮影)



大河津分水路の川幅いっぱいを流れる洪水
(7月19日 16頃撮影)

※小窓の写真は普段の状況を撮影したもの

私たちが担当します

先月号で新規発注工事としてご紹介しました「大河津可動堰下流河道掘削その4工事」は、私たち株式会社宮川組が担当します。

梅雨も明け、青い夏・黄金色の秋に向かう季節の中で、この緑豊かな新潟平野の源となる信濃川・大河津分水路の新しい河道を作る大事業に参加させていただくことになりました。私(平原)は、燕市(旧分水町)で生まれ、四季折々の素晴らしい眺めの大河津分水路を観て育ちましたので、特に今回の工事は思い入れがあり、工事に対する責務を感じております。我が社が施工させて頂く工事内容は、土砂の運搬作業が重点となりますので、特にダンプトラックの運行に気を配り、工事完成まで気持ちを緩めることなく、現場関係者が一致団結で無事故・無災害に努め、完了できることを望んでおります。最後に工事関係各位の皆様、地元関係地域の皆様には何かと御迷惑等をお掛けすることになるかと思いますが、何卒御指導・御協力の程宜しくお願いいたします。



現場代理人
平原 秋雄 (ひらはら あきお)



監理技術者
近松 元 (ちかまつ はじめ)

可動堰改築工事起工式を開催します

4月から部分着手していましたが大河津可動堰本体工事ですが、10月から本格工事に入るのを前に、起工式を9月30日(土)に行う運びとなりました。

開催場所 : 大河津可動堰本体工事施工箇所
(大河津分水路左岸側高水敷上、大河津橋より上流)
時間 : 午前10時30分より

式典では分水太鼓も披露されます。
みなさんのお越しをお待ちしております。



会場までの道順は、途中に誘導員や看板を設置しますので、指示に従ってご来場ください。

色彩意見募集終了しました

新しい可動堰にふさわしい『色』に関するご意見募集について、8月31日をもって募集を締め切らせていただきました。8月中旬時点の集計で150件を超えるご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

集計結果をふまえた色彩に関する方針が決定しましたら、ご報告していきたいと思っております。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当): 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://kadouzeki.jp>

信濃川大河津資料館

<http://ohkouzu.jp>